

まちの話題



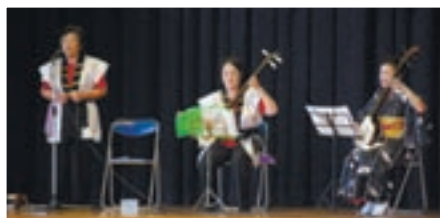
いつまでもお元気で

9月20日は「敬老の日」でした。

この日にちなみ、市内各地区の小学校や各自治会で、高齢者を敬い、長寿を祝うさまざまな敬老行事が行われました。

余興では、幼稚園児や小学生、女性部の方々の趣向を凝らした歌や踊りに会場の方々も大いに盛り上がり、楽しい祝賀会となりました。

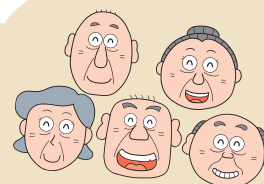
最近のニュースでは、家族やとなり近所の人でも、高齢者の生存がわからないという悲しい現状です。長年にわたり社会につくしてきた高齢者を敬愛し、いつまでも元気で長生きしていただけるよう、皆さんで温かく見守りましょう。



▲羽月北校区敬老祝賀会

伊佐市の高齢者

伊佐市の総人口	30,117 人
75 歳以上の人口	6,370 人
総人口に占める割合	21.15%
88 歳の人 (米寿)	212 人 (男 58 人・女 154 人)
99 歳の人 (白寿)	17 人 (男 1 人・女 16 人)
100 歳以上の人	22 人 (男 0 人・女 22 人)



平成 22 年 9 月 1 日現在

名将新納忠元公 没後 400 年記念

『 歴史講演会・シンポジウム 』



9月5日に文武両道・郷土の名将新納忠元公の没後400年を記念して「歴史講演会・シンポジウム」が大口ふれあいセンターで開催され、市内外から約300人が訪れました。

オープニングは「演劇集団 非常口」が忠元公の生涯を描いた紙芝居「忠元物語」をスクリーンに映しながら、それぞれの登場人物に扮して見事に演じました。その後、鹿児島大学教授原口泉先生による「戦国武将・新納忠元公の魅力」と題した基調講演のあと、「郷土の名将・新納忠元公の偉業と魅力」と銘打ってシンポジウムが行なわれました。パネラーに三木靖鹿児島国際大学名誉教授、原口泉鹿児島大学教授、東哲郎実行委員長を迎え、新東晃一元県立埋蔵文化財センター次長の司会のもと、忠元公が大口に築いた偉業の数々や、豊臣秀吉と忠元が会見を行った天堂ヶ尾関白陣を発掘調査をしたときの様子など、多岐にわたり、時にはスライドを使いながらの説明が行なわれ、参加者は真剣な表情で聞き入っていました。

シニアソフトボール

“チャリティー” 秋季大会開催



9月3日、伊佐市ソフトボール協会秋季大会最終日に、今回出場の12チームからの寄付金が“大口高校ラグビー部”“県下一周駅伝選手団”へ贈呈されました。

このシニアソフトボール“チャリティー”秋季大会では、平成12年から開催され今年までの11年間に、平成18年の豪雨災害見舞金を含め、市内36団体へ寄付をしています。また、ソフトボール協会は練習に使う市内のグラウンド周辺の草刈のボランティア活動も行っています。

心地よい汗を流しました



8月23日、伊佐湧水消防組合潜水隊を中心に、消防職員25人とその子供たちの総勢約50人で曾木の滝公園の清掃活動を行いました。約2時間ほどで軽トラック2台分のゴミを集めました。暑い中の作業でしたが、親子のふれあいとボランティア精神の大事さを学ぶ良い機会になりました。

また、8月29日に、第8回奉仕作業を伊佐卓球クラブのメンバー20人が参加して、伊佐体育センター内外の清掃活動をしていただきました。きれい、さっぱりとした体育館になりました。

ありがとうございました。

防災への意識



9月5日、午前6時、湯之尾の町にサイレンが高々と鳴り、地元の消防団や住民およそ100人の参加で災害時避難訓練が開始されました。消防団員が班ごとに避難呼びかけや逃げ遅れの確認をし、旧JA湯之尾支所前に設置された避難場所へと住民を誘導していました。最後に消防署職員から消火器の取扱いについて説明を受けた後、訓練用の消火器を使用して消火訓練を行いました。

避難経路、消火器の使い方などを覚え、災害時にパニック状態にならないよう、いざという時のために防災訓練には積極的に参加し、災害に対する備えを怠らないようにしましょう。

県体カヌー競技



9月19日、第64回県民体育大会のカヌー競技が伊佐市湯之尾で開催されました。天候に恵まれた絶好のカヌー日和で、県内各地から男子11艇、女子8艇のエントリーがあり延べ250人が熱戦を繰り広げました。伊佐チームは、男子が3位に入賞しました。

男子優勝は、大島チーム
女子優勝は、曾於チーム

空手道全国大会 準優勝



帖佐 太陽君（羽月小学校1年・堂崎）

8月28日（土）、29日（日）に大阪中央体育館において全日本空手道連盟系東会全国空手道選手権大会が開催され、鹿児島県代表として小学1年生男子組手の部に出場し見事準優勝されました。おめでとうございます。

小学生が共同生活

菱刈地区の小学校4校区で、9月1日から3泊4日の日程で“ふるさと学寮”が実施されました。これは、平成15年から毎年行われ、各校区公民館に宿泊しながら学校へ通い、自分たちで食事の準備・後片付けと共同生活を体験し、お風呂はもらい湯と地域住民の協力で実施されています。

今年は、4年生以上の約80人の児童が参加しました。

最終日の4日は、農村環境改善センターに参加者全員が集まりレクレーションを楽しみました。

